

漁海況情報



沖縄県水産海洋技術センター
901-0354 沖縄県糸満市喜屋武1528
電話 098-852-4530・4531
FAX 098-852-4533

2014年(平成26年)9月 第502号

↑携帯電話からのアクセスはこちらへ(Gコード)

最新情報提供：沖縄県水産海洋技術センター
URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>
海況案内人のページを参照してください。

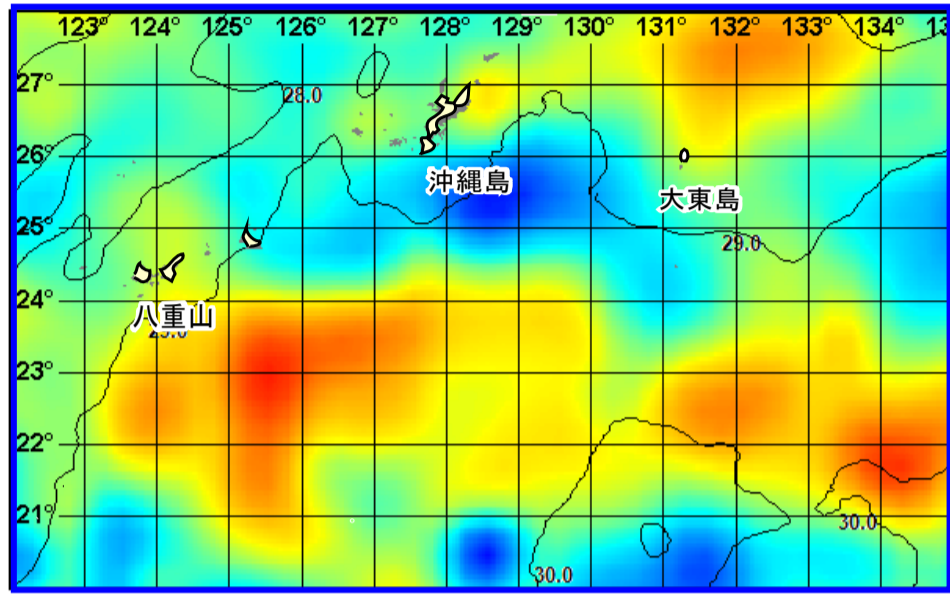


図1. 表面水温(等温度線)・海面高度分布(塗り分け)図(2014年9月30日)

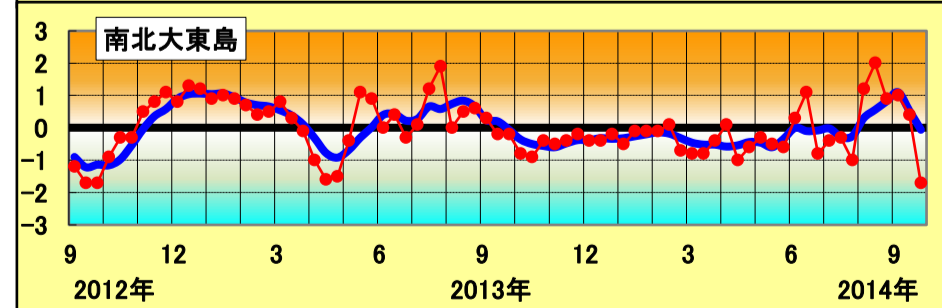
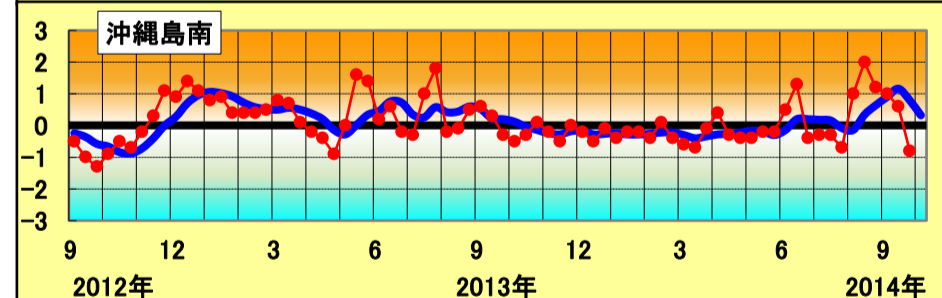
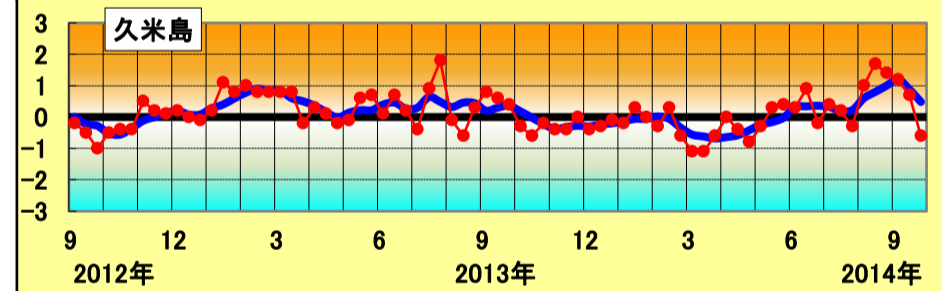
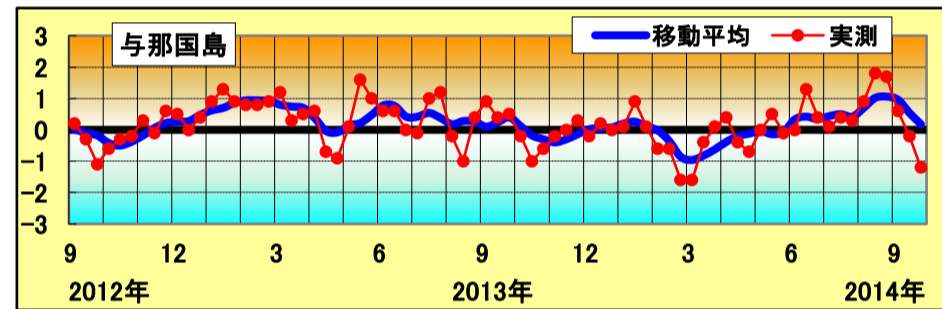
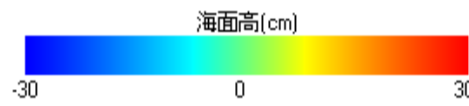


図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)
資料：西日本海況旬報(長崎海洋気象台;2013年4月1日以降は沖縄気象台)

水温：9月の海面水温は、好天が続く風も弱い天候が続いたため、前半、やや高め～かなり高め(+1.0～2.0℃程度)、後半、やや高め～高め(+1.0～1.5℃程度)で推移したが、9月に沖縄島に上陸した台風19号が通過した後は、急激に水温が下がった。

潮流：2つの中規模渦の影響で北緯24°30'～23°00'東経126°30'～128°00'付近にはかなり強い南東向けの流れが発生して、10月上旬には北緯23°15'～24°30'東経127°30'～129°00'付近まで移動した模様。

※漁海況情報の内容についてこれまでこの「漁海況情報」では、漁況と海況、それぞれの直近情報を元に作成してきました。しかし、漁況情報は約1ヶ月前、海況情報は発行した当日が直近の情報となっていたため、その間の時間的な隔たりが大きく、海況と漁況の関連性が見づらい状態となっていました。今後、海況の直近情報は、「海況速報(別途作成)」に記載し、この「漁海況情報」では、とりまとめた漁況情報に対して直近の海況情報をまとめることといたしますので、よろしくお願いいたします。

参考資料
・気象庁：沖縄周辺の日別海水温・潮流
・気象庁：海水温海流1ヶ月予報
・沖縄気象台：沖縄県地方1か月予報
・沖縄気象台：参考図【海流・海面高度・表層水温(沖縄周辺海域)の実況図・予想図】

漁況

パヤオ漁業：沖縄島南部海域では、キハダ、シビ、伊良部ではシビ、キハダ、カツオの水揚げが多かった。

表1 9月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	南部計	伊良部	県内パヤオ総漁獲量
シイラ	1.0	0.7	0.1	1.1	3.0	4.4	10.5
クマガシ	0.3	0.3	0.3	0.0	0.9	0.0	7.2
沖サワラ	1.1	0.1	0.2	0.1	1.6	0.1	2.9
カツオ	0.5	0.1	0.0	0.0	0.6	8.2	9.0
キハダ	14.2	2.7	0.9	1.1	18.8	12.7	53.9
シビ	3.3	4.6	0.4	2.9	11.2	22.6	37.8
メバチ	1.0	0.1	0.8	3.5	5.4	0.0	6.4
計	21.3	8.6	2.7	8.9	41.5	48.1	127.7

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。

表2 6～10月のキハダ(10kg以上)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	65.5	36.4	56.1	27.3	63.5	248.8
2011年	24.3	47.8	26.1	38.5	17.8	154.4
2012年	26.7	34.1	37.3	34.0	15.5	147.6
2013年	10.3	11.3	23.9	16.9	8.2	70.6
2014年	13.6	22.1	16.5	18.8	-	71.1

表3 6～10月のシビ(10kg未満)漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	9.9	12.2	16.7	26.4	16.9	82.0
2011年	12.9	12.2	12.3	17.3	16.9	71.6
2012年	12.8	18.8	15.2	25.9	12.7	85.4
2013年	12.1	24.9	20.6	16.8	9.5	83.9
2014年	5.6	8.3	11.8	11.2	-	36.9

表4 6～10月のシイラ漁獲量(t)

年/月	沖縄島南部4漁協合計(糸満・港川・知念・沖縄市)					6-10計
	6月	7月	8月	9月	10月	
2010年	6.8	0.6	1.1	2.0	2.9	13.4
2011年	12.9	0.5	0.8	6.2	11.2	31.6
2012年	2.3	0.2	0.6	2.0	8.6	13.7
2013年	2.9	0.2	0.2	1.8	6.2	11.3
2014年	2.5	0.2	0.6	3.0	-	6.3

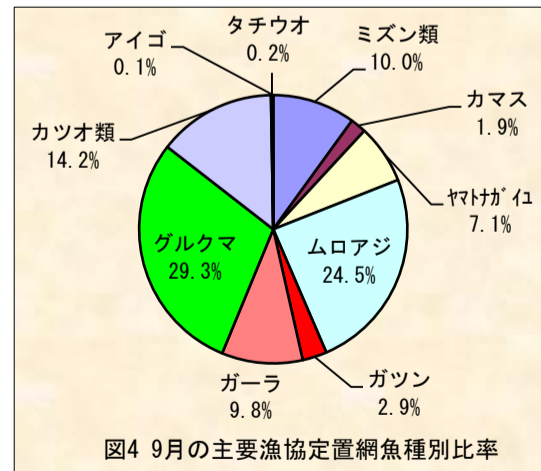


図4 9月の主要漁協定置網魚種別比率

定置網：9月の全体の漁獲状況は、19,268.8kgで先月(12,292.8kg)と比べて増加した。グルクマの漁獲が全体の29.3%、ムロアジが24.5%を占めた(表5、図4)。

注記：統計数値は、小数点第二位以下を四捨五入したため、計と内訳が一致しない場合があります。



ナンヨウカイワリ(ガーラ)

糸満ではキハダが14.2t、シビが3.3t漁獲された。港川ではシビが4.6t、キハダが2.7t漁獲された。知念ではキハダが0.9t、メバチが0.8t、シビが0.4t漁獲された。沖縄市ではメバチが3.5t、シビが2.9t漁獲された。伊良部ではシビが22.6t、キハダが12.7t、カツオが8.2t漁獲された(表1)。

沖縄本島南部海域における過去5年間の6～10月期のキハダ、シビおよびシイラの漁獲量を表2～4に示した。更に過去4年間の1～12月期のキハダの漁獲量を図3に示した。

9月のキハダの漁獲量は、18.8tで8月(16.5t)に比べて2.3t漁獲量が増加、昨年(16.9t)と比較すると1.9t増加した(表2、図3)。シビの漁獲量は8月(11.8t)と比べて0.6t減少した(表3)。シイラの漁獲量は8月(0.6t)と比べて2.4t増加した(表4)。

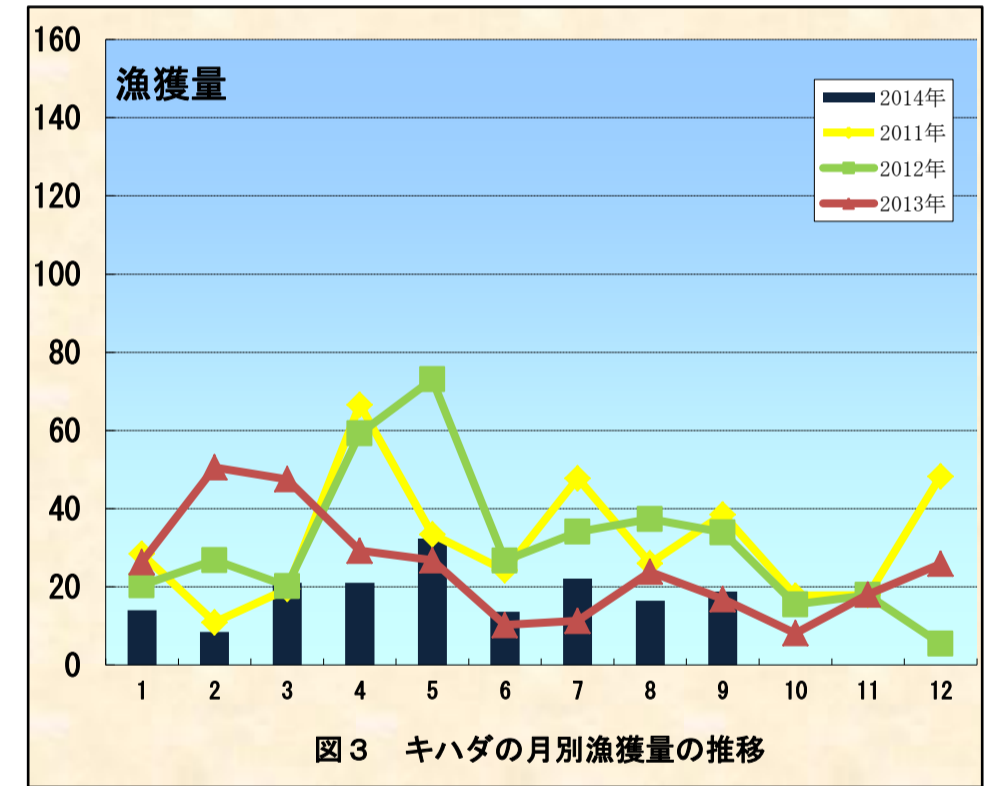


図3 キハダの月別漁獲量の推移

表5 9月の定置の主要魚種別漁獲量(kg)

魚種名	大型定置			小型定置			合計	県内定置総漁獲量
	読谷	知念	金武	名護	勝連	与那城		
ミズン類	1,173.2	145.1	0.0	116.3	2.2	363.0	0.0	1,799.8
カマス	281.8	27.6	0.0	7.8	25.7	0.0	0.0	342.9
ヤマトガレイ	666.4	351.2	0.0	0.0	265.1	0.0	0.0	1,282.7
ムロアジ	4,411.4	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	4,414.6
ガツン	309.8	153.6	0.0	26.9	40.2	0.0	0.0	530.5
ガーラ	1,343.7	222.7	0.0	50.8	140.8	0.0	0.0	1,758.0
グルクマ	4,562.1	599.0	0.0	31.4	85.1	0.0	0.0	5,277.6
カツオ類	2,281.7	5.8	0.0	222.9	0.0	49.5	0.0	2,559.9
タチウオ	3.7	22.5	0.0	0.2	11.1	0.0	0.0	37.5
アイゴ	8.3	0.0	0.0	0.7	1.5	1.0	0.0	11.5
合計	15,042.1	1,527.5	0.0	460.2	571.7	413.5	0.0	18,015.0

※合計の15%以上を占める魚種の背景に色を付けて強調している。